

## 第5回文化講演会

第5回文化講演会が1月28日におこなわれ、「親鸞聖人」上越配流800年を記念して、高田浄興寺門主 稲田善昭氏に講演をいただきました。



## 「親鸞聖人」を語る

平成19年は、専修念仏禁止の弾圧によって、親鸞聖人が京都から越後国府(新潟県上越市)に配流されてから800年目の節目の年にあたります。上越市は、親鸞聖人を平成19年の観光の柱にしてまいります。Jネットでは、これを先取りし、本山浄興寺(上越市寺町2丁目)の門主 稲田善昭氏に親鸞聖人を語っていただきました。

浄興寺は、聖人にゆかりの深い寺で正式名称を「歓喜踊躍山浄土真宗興行寺」といいます。聖人に関係した数々の寺宝を所蔵しているほか、その本堂は県内最大規模の真宗寺院建築で、国の重要文化財に指定されています。9年間をかけた大修理が平成16年5月に終わり、今、江戸時代末期の姿を見ることができます。講演とともに写真パネル等でご紹介されました。

引き続き行われた懇親会も80人余人の参加を得て朗らかに楽しい一日となりました。



